

ホームレス者 自立支援のための 歯科保健システム 構築に向けて

NPO法人ウェルビーイングでは、2007年から3年間ホームレス者の口腔を診てきました。その間、社会状況は変わりましたが、ホームレス者の口腔内は3年間とも全国一般成人と比較して、劣悪な状態でした。

その結果、「歯が原因で食べられない・眠れない」

「噛むことができず丸飲みして消化不良をおこす・全身の健康に影響を与える」

「歯がないので見かけが悪く職につけない」「人と話さなくなる」など、

いろいろな影響がでています。しかし、ホームレス者が治療が受けられる

社会保障制度は、未だに整っていません。

NPO法人ウェルビーイングは歯科支援を通して、

今後もホームレス者のQOL(生活の質)、全身の健康、就労、他者との交流、

社会とのつながりのために、取り組んでいきます。



歯の問題への対処から、 医療・福祉へつなぐシステムづくり

むし歯、歯周病があっても治療できないホームレス者は多くいます。その人達を歯科治療へつなぐシステムが必要です。NPO法人ウェルビーイングでは歯科相談・歯磨き指導などを行っていますが、治療に関する支援はほとんど行なっていません。そのため、今後は、ホームレス者の現状を発信し、関係する組織・団体と連携しながら、ホームレス者、特に生活保護が受けられない人、保険証を持っていない人が、歯科医療を受けられ自立できるように社会へ働きかけていきます。

予防的なアプローチ

雇用情勢の悪化から若いホームレス者が急増している中で、今ある歯を失わない予防的なアプローチが必要です。2010年より就労自立支援センター等での健康教室で、むし歯や歯周病予防の知識・情報・技術を提供します。

関係団体との連携

ひとつの組織だけでは取り組めることは限られています。今後はより多くの歯科医療従事者・団体、行政、ホームレス支援NPO、市民などいろいろな人達と連携し、共に取り組んでいくために、情報の発信を行っていきます。